



全会津大会への出場切符を懸けて熱戦を繰り広げる選手

全会津大会出場を懸け

北会津管内中学校体育大会総合大会

平成 29 年度北会津管内中学校体育大会総合大会は 6 月 6 日、猪苗代、磐梯の 2 町で開かれ、7 競技で争われました。出場した選手たちは、全会津大会の出場権を懸けて熱戦を繰り広げました。このうち、軟式野球競技は楽天イーグルス猪苗代球場で行われ、東中、吾妻中、猪苗代中の 3 チームによる総当たり戦で争われました。第 3 試合は互いに初戦で 1 勝を挙げた東中と猪苗代中が対戦。熱戦の末、猪苗代中が勝利し、全会津大会へ駒を進めました。

森林保全のため善意を寄せる

ボーイ・ガールスカウト育成会緑の募金贈呈式

猪苗代ボーイスカウト・ガールスカウト育成会の楠俊道会長は 6 月 19 日、町役場を訪れ、町緑化推進協議会会長の前後公町長に緑の募金 10,400 円を寄付しました。同会の会員などから寄せられた善意を届けました。

贈呈式には、増子恵二ボーイスカウト福島連盟猪苗代第 1 団委員長、ボーイスカウト代表の増山薫さん(猪苗代小 4 年)とガールスカウト代表の森はなさん(翁島小 1 年)が同行しました。



前後町長に善意を手渡す楠会長(右から 2 人目)ら

交通安全の知識・技能を高める

交通安全子供自転車会津方部大会

交通安全子供自転車会津方部大会は 6 月 15 日、会津若松市の鶴ヶ城体育館と子供自転車安全運転コースで開かれ、喜多方、猪苗代、磐梯の 1 市 2 町から 5 小学校、7 チームが参加しました。競技は学科テストと実技テストの総得点で争われ、実技テストでは、選手たちが S 字走行やジグザグ走行などで日ごろの練習の成果を披露しました。採点の結果、団体の部は磐梯一小が優勝。成績上位の磐梯一、長瀬、猪苗代の各チームが県大会に出場します。



真剣な表情で実技テストに臨む児童

子どもたちの健やかな成長を願い

ひまわりこども園卒園児らが桜を植樹

ひまわりこども園の平成 28 年度に卒園した園児 76 人と保護者は 6 月 11 日、同園に卒園記念の桜を植樹しました。

前 P T A 会長の星洋二さんが中心となり、ひまわりこども園開所以来初めての卒園児となった子どもたちの思いを託し、園児たちの健やかな成長を願って企画されました。

卒園児らは、園庭の東側に高さ約 3 ㍎のソメイヨシノの若木 3 本を丁寧に植えました。



ソメイヨシノの若木を植える卒園児たち



「玉入れ」で 100 個の玉を籠に投げ入れる参加者

スポーツを通じて健康増進

町高齢者スポーツ大会

町高齢者スポーツ大会は 6 月 16 日、カメリーナで開かれ、町内 6 地区から 166 人が参加しました。紅組(川西地区)、白組(川東地区)に分かれて競う「玉入れ」や、ラグビーボールを棒で転がして進む「ブタ追い競走」、男女ペアで手をつなぎながらアイスに見立てた風船を落とさないようにゴールを目指す「アイスクリームデート」など 8 種目で争われました。参加者は、心地よい汗を流しながら、スポーツを通じて健康増進を図りました。

長年の功績をたたえ

県選挙管理委員会連合会永年勤続者表彰

県市町村選挙管理委員会連合会永年勤続者表彰を受けた渡部喜則さん(曲淵)への表彰状伝達式は 6 月 1 日、町役場で行われ、町選挙管理委員会の渡部榮一委員長が渡部さんに表彰状を手渡しました。渡部さんは平成 18 年 4 月から平成 28 年 4 月までの 10 年間、町選挙管理委員を務め、選挙の管理執行に尽力しました。式では、前後公町長が「長年にわたり明るく正しい選挙の推進にご尽力いただきありがとうございます」と祝辞を述べました。



表彰状を受ける渡部さん(右)

新緑の中を駆け抜ける

町民健康マラソン大会

町民健康マラソン大会は 6 月 4 日、町運動公園で開かれ、367 人の参加者が健脚を競いました。レースは男女別、年齢別などの 23 部門で争われ、参加した選手たちが爽やかな汗を流しました。新緑の中を力走する選手の姿に、応援に駆けつけた家族や友人などからは、大きな声援が飛んでいました。

また、会場では町食生活改善推進員の皆さんによる豚汁の振る舞いが行われました。



親子マラソンキッズの部で元気よくスタートする参加者

消防団功績者に表彰伝達

第 69 回県消防協会猪苗代支部幹部大会

第 69 回県消防協会猪苗代支部幹部大会は 6 月 11 日、磐梯町中央公民館で行われ、猪苗代、磐梯両町の消防団幹部ら約 150 人が参加しました。表彰伝達では、前猪苗代町消防団長の五十嵐正義さんらに表彰状が手渡されました。建議案では、第 1 分団自動車部長の山口剛さんが「消防団の人材不足について」建議。五十嵐幸夫支部長が「消防団活動に対し、さまざまな手法で家庭や地域、職場の理解促進を図りたい」と回答しました。



表彰状を受ける五十嵐さん(中央)